

会 議 録

1 会議名

令和7年度 第10回中郷区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告（公開）

- ・上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について

（2）協議（公開）

- ・新たな自主的審議事項「い～住プロジェクト」について
（第3回まちづくりワークショップ）
- ・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について
- ・その他

3 開催日時

令和8年1月26日（月） 午後6時から午後8時35分まで

4 開催場所

中郷コミュニティプラザ ホール

5 傍聴人の数

報道0名 傍聴0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：竹内会長、陸川副会長、尾崎委員、桐山委員、高橋委員、竹内委員、村越委員、陸川委員（欠席3名）
- ・事 務 局：中郷区総合事務所 高波所長、金井次長、朝日市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、更山地域振興班主事、近藤総務班長、中田総務班主事、早川税・市民生活班長、平原教育・文化班長
- ・上越市創造行政研究所：藤山所長、柳澤上席研究員、丸山主任

8 発言の内容（要旨）

【桐山班長】

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内会長】

第 10 回中郷区地域協議会を開催する。

会議録の確認を尾崎委員、陸川委員に依頼。

報告事項は、自主的審議事項「い～住プロジェクト」の協議終了後に行うこととし、先に協議事項に進む。

協議

～第 3 回まちづくりワークショップ～（進行：上越市創造行政研究所）

1. ワークショップの流れの説明（藤山所長）

2. グループワーク（3 チーム）

- ・第 2 回まちづくりワークショップで作成した「地元天気図」の気圧が集中している箇所を赤色で囲む、連携できるもの同士を青色で結ぶ、注目ポイントとなる箇所を緑色で囲む。
- ・移住定住の促進に向けて重点的に取組む内容を 3 つにしぼる。
- ・具体的な取組内容を「短期（来年度）・中期（2～3 年）・長期（5 年）」に分け、整理する。

【ヤングチーム】 陸川副会長、尾崎委員、桐山委員、村越委員

【ベテランチーム】 竹内会長、高橋委員、竹内委員、陸川委員

【総合事務所チーム】 金井次長、朝日 G 長、早川班長、近藤班長、平原班長、中田主事

3. 移住定住の促進に向けた取組の 3 本柱と取組内容について発表

【ヤングチーム】

●柱①「若年層の居場所づくり」

- ・短期：どの施設を利用するか検討する（旧岡沢小学校・片貝縄文資料館の活用、若者との意見交換、町内会との連携）
- ・中期：遊具等の設置
カフェのように気軽に集まれる場所をつくる

- ・長期：「こ食」事業の実施回数を増やす
い～場所開設事業の拠点化
若年層の居場所を小学校・中学校の中につくる

●柱②「移住受け入れ窓口」

- ・短期：移住定住コーディネーターの配置
移住者との意見交換
情報発信の基盤づくり
- ・中期：移住者による情報発信
- ・長期：情報発信の担い手の確保、事業の継続

●柱③「働く場所の確保」

- ・短期：商工会と連携し、企業や求人情報を集約する
農業法人との意見交換
- ・中期：職場のPR動画の作成、体験例の紹介
- ・長期：新規人材の確保、魅力の発信

【ベテランチーム】

●柱①「子育て」

- ・短期：子育て広場の設置（子育て世代との意見交換）
- ・中期：子育て環境の充実
次世代の人材確保
- ・長期：小中一貫校をつくる（地域の学校は地域でつくる）

●柱②「住むところ」

- ・短期：Uターン・移住者との意見交換
町内会やさとまる学校との連携
- ・中期：リフォーム相談窓口の設置
- ・長期：新しい住環境の研究と提案（集合住宅を新たにつくる）

●柱③「観光」

- ・短期：中郷の自然をPR
- ・中期：PR動画等で魅力を発信
- ・長期：魅力発信後の評価とさらなる企画の立案
映えスポット等の充実

【総合事務所チーム】

●柱①「移住・定住（不動産情報の発信）」

- ・短期：町内会からの空き家・空き地情報の収集
実施団体の設立
- ・中期：専門家（宅建協会等）との連携
SNS、ホームページでの情報発信
- ・長期：実施団体による窓口対応の開始

●柱②「生きがい（趣味・スポーツ）」

- ・短期：きっかけづくり（毎月〇日を趣味やスポーツに取り組む日とする、
健康づくりポイント事業の活用、高齢者向けの送迎付きの事業を実施）
- ・中期：内容の充実
さとまるポイント（仮称）計画（個人での成果、グループで参加）
送迎手段の確保
団体間の連携
- ・長期：活気ある形での中郷体育祭の復活
住民の〇％が趣味やスポーツに取り組んでいる状態

●柱③「食（交流人口増）」

- ・短期：住民アンケートの実施（春夏秋冬それぞれの季節において「中郷と
言えば」とイメージされる食材を調査する、まちづくりアンケート
として「食」以外の内容を含める）
- ・中期：レシピの考案、開発（コンクールの開催）
協力店や協力団体のピックアップ
- ・長期：中郷の郷土料理（特産品）の作成
商品化、店での販売や周知

→肉親・筋肉・肉食をキーワードに「NIKUの郷『中郷』」を目指す。

「N（なかごうに）I（いつづけると）K（こころもからだも）U（うれしく
なる♪）」

4. 講評とまとめ（藤山所長）

【藤山所長】

取組の実現を進めるにあたり、3つのポイントがある。

1つ目は、誰がやるかということ。1人に任せるのではなく、誰と誰が一緒にな
って事業を行うのか具体化することが重要。

2つ目は、既存の計画やビジョンと結び付けながら事業を進めていくこと。予算を獲得しやすくなる。

3つ目は、具体的なイメージを持つこと。先進事例などを踏まえて、共通のイメージを持ちながら事業に取り組むことが重要。

さらに、総合事務所チームの「NIKUの郷『中郷』」のように、名前を付けることも大切。名前を付けると事業への意識や方向性が明確になる。また、名前には言霊効果があり、事業の成功や目標達成に近づくので、楽しみながら事業を進めてほしい。

～報告事項～

【竹内会長】

上越市創造行政研究所はここで退席とする。

報告事項の上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知について事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料「上越市過疎地域持続的発展計画（案）について（通知）」に基づいて説明。

【竹内会長】

上越市過疎地域持続的発展計画（案）に係る答申に対する通知については、質問や意見はないか。（質問・意見なし）

～自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」～

【竹内会長】

続いて、自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、事務局に資料No.1～3の説明を求める。

【桐山班長】

資料 No. 1 に基づいて説明。

「さくら号」の運行については、前回の地域協議会にて報告したとおり、中学生の登校用の運行を12月17日（水）から開始し、対象者13人中11人が利用している。問題なく運行できており、保護者からは感謝の声が届いている。

資料 No. 2～3 に基づいて説明。12月17日（水）、第4回子どものい～場所開設事業を実施し、過去最多の37人の参加があった。2月以降、資料 No. 3-1 と No. 3-

2のとおり、今年度の事業の振り返りや次年度以降の開催に向けたアンケートを実施する。

【陸川委員】

1月22日（木）に第5回子どものい～場所開設事業を実施した。雪の影響もあり、送迎に時間がかかった。

また、体調不良を訴える子どもが1人おり、保護者に連絡の上、早めに自宅まで送り届けた。今後、体調不良者が出た場合の見守り者の対応について確認する必要があると感じた。

【尾崎委員】

1月22日（木）の第5回子どものい～場所開設事業に見守り者として参加し、体調不良になった子の対応をした。嘔吐等はなかったが、嘔吐処理用の道具を準備した方がよいと思った。また、参加申込みの際に体調面で考慮することがあるのか報告してもらったり、当日の体調チェックを行ったりするなど、事前に把握できるとよいのではないか。

【竹内会長】

今回出た課題については、事業実施者であるまちづくり振興会で対応いただくように伝える。私は、12月17日（水）の第4回子どものい～場所開設事業に見守り者として参加した。小学1年生の参加者が多かったが、学年を超えてうまく交流ができていてよかった。体育館の用具室の棚に入って遊んでいる様子が見られたので、怪我や事故等がないように注意して見守りが必要だと感じた。

アンケートについて意見等はあるか。（意見なし）

次に、3月に行う「令和7年度活動報告会」について、事務局に資料No.4の説明を求める。

【桐山班長】

資料No.4に基づいて説明。

【竹内会長】

資料No.4は、私と副会長、事務局で事前に協議の上決めた内容である。活動報告会の流れや役割分担について、資料No.4のとおりとして問題ないか。（異議なし）

今年度の活動報告会には、30～50代の子育て世代の方々にも多く参加いただきたい。保育園保護者会や小学校・中学校PTAから2～3名ずつ出席いただけるように依頼したいと考えている。

【桐山班長】

昨年度は、全町内会長、まちづくり振興会の理事・企画委員、小学校・中学校PTA会長、小学校・中学校の校長、さとまる学校、南部まちづくり協議会、地域独自の予算事業提案団体へ案内文書を送付した。竹内会長の説明のとおり、今年度は子育て世代の方々から参加いただきたい。また、ある程度の参加人数を把握するために、事前に参加者を報告していただくこととしてはどうか。

【竹内会長】

文書での案内のみで参加を促すことは難しいと思うので、「団体から〇名ご参加ください」という方法で依頼していくこととしたい。学校関係者や町内会で割り当て人数を決めれば、ある程度の見込みが立てられる。

【陸川委員】

移住定住の促進に向けた取組の中で「農業」も深く関わってくると思うので、農事組合法人藤沢と農事組合法人おかざわへ案内文書を発送したらどうか。

【竹内会長】

町内会からは町内会長に限らず、子ども会や青壮年会関係の役員などを含めて参加いただけるように依頼文書を工夫する。

以前から話していた、子育て世代のUターン者との意見交換について、2月上旬に実施できるように調整している。この方々にも活動報告会へ参加いただけるように案内をしようと思う。

その他にも活動報告会への参加を各委員から声かけをお願いしたい。次回の地域協議会で3月7日（土）の活動報告会当日の集合時間等について決定する。

以上で協議を終了とする。

最後に、地域協議会委員の欠員の補充について、何人か声かけを行っているが、断られている状況である。できれば欠員を補充した状態で4月を迎えたいと考えている。行政上の手続きに時間を要するため、各委員からも3月までに候補者を推薦いただきたい。

次回の地域協議会は、2月24日（火）午後6時から中郷コミュニティプラザで開催する。ワークショップから導き出された各チームの3本柱を地域協議会としての3本柱にまとめる作業や、活動報告会に向けた最終協議とリハーサルを行う予定。

また、25日（水）午後1時から上越市創造行政研究所の藤山所長と打合せを行う機会を設けた。活動報告会に向けた発表についてアドバイスをいただく予定なので、可能な委員は出席いただきたい。

以上で本日の地域協議会は終了とする。

9 問合わせ先

中郷区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-74-2411 (内線 165) E-mail : nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。